

兵庫県教育委員会事務局体育保健課との協議録

日時 令和2年5月21日(木) 午前10時～午前10時50分
場所 兵庫県庁 兵庫県教育委員会 体育保健課 事務室

■出席者

兵庫県教育委員会事務局

山根 尚 (兵庫県教育委員会事務局体育保健課 課長)

織邊 剛 (兵庫県教育委員会事務局体育保健課 副課長)

土井一弥 (兵庫県教育委員会体育保健課学校体育班主任指導主事)

丹波篠山市

酒井隆明 (丹波篠山市長)

稲山 悟 (丹波篠山市教育委員会教育部長)

丹波篠山市

先日は兵庫県中学校体育連盟に行き、部活動について、複数校合同チームの考え方などをお聞きしたが、今日は部活動指導員、合同チーム、兵庫県教育委員会が教職員向けに作成されている「いきいき運動部活動」などをお聞きするため、来させていただいた。

丹波篠山市の篠山東中学校女子ソフトボール部は、令和元年度、1年生2人、2年生6人、3年生1人の計9人ながら、県大会ではベスト4の成績を残した。

しかし、中学校の部活動規定では、1・2年生だけで年度当初9人に達していない状態が2年続いたときは廃部にするという規定があり、令和2年度については部員は募集しない方向で進んでいた。

そうしたところ、新入生1名の入部があれば9人となるし、同じ中学校区内においてソフトボールで大変活躍している小学生もあり、保護者や地域住民から、子どもの夢をつぶさないで欲しいとの要望書や署名が市長あてに提出された。

これを受け、篠山東中学校では保護者や地域の声を尊重され、女子ソフトボール部の存続が認められることになったが、市内中学校の部活動の存続と廃止のルール、指導員の確保などについて、市内中学校の部活動全体に関わることから、総合教育会議で検討を進めてきている。

校長会の先生は「生徒が減り、先生が減っている。先生2人が部活を見る必要があるため、その見られる数が適正な部活数である」として、部活動の数を減らそうとされている。このことはどうか。

兵庫県教育委員会

そもそも部活動の趣旨は「生徒の自主的、自発的な参加により行われることが何より大切なことであって、学校や教員は、これを支援するものです。これは「いきいき運動部活動」の冒頭に記載しているし、中学校学習指導要領(平成29年3月)に定めているものです。

従って、先生の数や管理体制から、部活動の数を導き出すのは正しいものではありません。

丹波篠山市

部活動指導員を入れて部活を見てもらおうと考えているが、校長会の先生の話で

は、指導員と先生がうまくいかないケースがあって、学校現場では受け入れにくいととらえられているようです。うまくいっている県下のケースはありますか。

兵庫県教育委員会

部活動指導員を部活動に積極的に導入することは必要です。平成30年度から制度が始まり、この年度は10市町25人、平成31年度は21市町80人、令和2年度は25市町111人で、県内のニーズは高まっています。特定の種目の技術を教える指導員もあれば、阪神間では学校の部活動全体のあり方を担当するような指導員を配置している例もあります。教員のOBなどが活躍されています。

丹波篠山市

校長会の先生は、事故やケガの場合などがあり、部活動の顧問は必ず立ち会わなければならないと心配されています。

兵庫県教育委員会

平成22年5月に起きた県立龍野高校テニス部の熱中症事故で裁判となり安全配慮義務が争われたが、顧問は必ず立ち会わなければならないとはなっていない。

県立高校には通知しているが、顧問は活動中、生徒の活動に立ち会い、直接、指導することが原則であるが、やむを得ず立ち会えない場合、健康状態や休憩など、危険回避について具体的な体制をとっておくことを、顧問不在時のルールづくりをしている。

国のガイドラインでも、県の通知でも立ち会うことが原則だが、必ず立ち会わなければならないとはなっていない。

丹波篠山市

兵庫県中学校体育連盟でのお話しでは丹波篠山市で1チームとか2チームとの合同チームは無理とお話であった。しかし現状での部員が不足する場合の合同チームでは年度によってチームの構成が変わることになるが仕方ないのか。

兵庫県教育委員会

兵庫県中学校体育連盟では救済措置として複数校合同チームを設けており、近畿、全国も同様であり、県独自では変えようがない。年度によって合同チームが変わることはやむを得ない。部活動で学校を選べる拠点校方式をしている自治体もある。

丹波篠山市

本日は、兵庫県教育委員会の考え方や事例を聞かせていただき大変参考になった。引き続き、総合教育会議で検討していきたい。